



桜だより



2022年6月1日発行

“考える”ということ

5月初め、元サッカー日本代表監督であったイビチャ・オシム監督が亡くなった、というニュースが流れました。私はサッカーとはあまり縁はありませんが、この監督のお陰で日本のサッカーが劇的に変わったと感じています。オシム監督は、サッカーを通して人と人を結びつけることに尽力した方ではなかったのかと感じています。多民族がひしめくサラエボで育った環境が強く影響していたのかもしれませんが、自分と異なる文化を理解しようという思いは強かったように感じます。そして、サッカーを通して、スポーツが人と人を結びつけるという素晴らしさを伝えてくれました。

オシム監督はよく「走れ」と指示をし、「何故走るのかは、自分で考えろ。答えは自分で見つけろ。」と指導されたそうです。そこには、指示を待つだけではなく、もっと責任を持って自分で判断をしていかなくてはいけないという、日本人選手の弱点を指摘していたのだと思います。そして、日本人の良さを活かしたサッカーとは何なのかを考え、日本ならではのスタイルの確立を目指すという、強化の方向性を示してくれました。

今大切なことは、まさにオシム監督が言われたように、自分で考え、答えを自分で見つけることではないでしょうか。目前の子どもたちにも、自分で考えることの大切さを伝えていきたいと思います。



今月の生活目標



毎月、代表委員会では、月の生活目標を話し合いで決めています。たくさんの意見が出て時間内に決まらないときは、休み時間にも集まって話し合いを持ちます。子どもたちが決めた目標を達成できるよう、教師も支援していきます。



運動会に向けて



6月11日開催の運動会に向けて、練習にも力が入ってきました。今年度は外部のお客様の参加もあり、昨年度よりにぎやかな運動会になりそうです。学年別の競技の他、未就学児やPTA種目もあります。また、親子で一緒に行う競技もありますので、楽しみにしてください。また、沖縄返還50周年を記念して、子どもたちは、沖縄の踊り「エイサー」に挑戦中です。





なかよしになろう 生活科

1・2年生の生活科では、「学校の人と仲良くなろう」というテーマで、学校で働いている職員のみなさんがどんな仕事をしているのかをインタビューしました。質問の内容は「どんな仕事をしていますか」「仕事をしていてうれしいことは何ですか」の2点です。

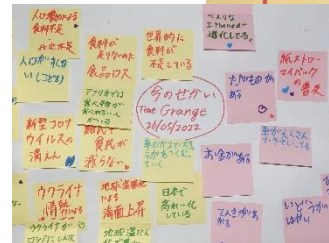
教室からは、ポルトガル語で何度も質問の練習をしている声が聞こえてきました。本番では、堂々と警備員の方や事務室で働く皆さん一人ひとりからお話を伺うことができました。職員の方から、とても上手でしたと感想をいただきました。



SDGsを考えよう 総合的な学習の時間



3年生以上は、総合のテーマを「SDGs」として、学習を始めました。昨年度、SDGsすごろくで少し触れましたが、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標目標としている2030年まであと7年間となりました。子どもたちは、世界の未来に目を向けながら、世界は今何をすべきなのか、そして、自分たちに何ができるのかを考え始めました。



修学旅行 オリエンテーション

リオ日学では、コロナ禍のため2年間実施できなかった修学旅行を実施します。行き先は、感染防止対策の観点から、今年度は貸し切りバスで行くことのできるリオ州内の近場の観光地・施設にしました。2泊3日の旅行となりますが、充実した学習の場としていきたいと思えます。終了後はリーフレットづくりに取り組む予定です。事前学習も含め、計画的に準備を進めていきます。



みんなで元気に挨拶 「さようなら」

毎日下校時に体育館に全員が集合し、みんなで元気に挨拶をして帰ります。最初は、バラバラだった挨拶も今は大きな声で言えるようになりました。

きちんと整列をすること、先生の話をしっかり聞くこと、礼儀正しく挨拶ができること、生活をしていく上で大切な基本を、繰り返し指導しています。

